

7～9月の催し・教室スケジュール

▼企画展・イベントなど

- 7月17日(土)～9月5日(日) / 企画展「つなげ!高知の少ない生きものたち」
- 7月24日(土) / ワークショップ「生きもの調査やってみよう」(植物)○
- 31日(土) / ワークショップ「生きもの調査やってみよう」(鳥)○
- 8月7日(土) / ワークショップ「生きもの調査やってみよう」(昆虫)○
- 8日(日) / ギャラリートーク
- 21日(土) / 講演会「四国のツキノワグマ」○
- 7月17日(土)～8月31日(火) / 食虫植物展
- 7月18日(日)、8月8日(日) / ハエトリグサの栽培教室○
- 7月25日(日)、8月22日(日) / 食虫植物のふしぎ体験コーナー
- 7月24日(土)・8月1日(日) / オオオニバスにのろう!○
- 8月14日(土)・15日(日) / 夜の植物園
- 9月18日(土)～20日(月・祝) / 五台山 観月会

○当園ホームページのイベントのページからお申し込みください。
※電話・FAX・入園窓口での申込受付は行っていません。申込開始日は各教室・ワークショップのページでご確認ください。

【申込先】ホームページ www.makino.or.jp

▼教室

- 7月10日(土) / ぐらしの植物教室○
 - 7月18日(日) / 見ごろの植物ガイドウォーク
 - 7月25日(日)・8月7日(土)・22日(日)・29日(日) / 夏休み子ども教室○
 - 8月15日(日) / 見ごろの植物ガイドウォーク
 - 9月5日(日) / ハーブの教室○
 - 9月12日(日) / 子ども自然体験教室○
 - 毎週第2水曜日・第4日曜日 10:00～ / 草花を描く
 - 毎週第2水曜日・第4日曜日 13:30～ / ふれあい植物観察会
- ※7月第4日曜日、8月は休止

○当園ホームページのイベント・植物教室ページ、またはFaxからお申し込みください。入園窓口でも直接お申し込みいただけます。
※申込開始日は各教室・ワークショップのページでご確認ください。

【申込先】ホームページ www.makino.or.jp
Fax 088-882-8635

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今後、企画展・イベントなどの日程や内容が変更または中止になる場合があります。最新情報はホームページなどでお知らせしますのでご確認ください。

Information

牧野植物園からのお知らせ

伝統園芸植物の展示

日本伝統園芸植物鑑賞棚は研究棟新設工事に伴い一時撤去していますが、これまで展示していた植物は、土佐寒蘭センターで引き続き観賞することができます。土佐寒蘭センターの雰囲気にあわせ、飾り方や品種の選択など、少し変化を加え、室内でも楽しめる展示となっています。センターでは、植物との距離が近く感じられ、繊細な葉の芸や鉢映りの妙など、今まで気がつかなかった伝統園芸の魅力を堪能していただければと思います。

寒蘭の展示と同時に、7月は楓、細辛、石菖、松葉蘭、8月は擬宝珠、9月は松をご覧ください。

(福川直人)



Shop information

ショップからのお知らせ

ボタニカルショップnonoca

牧野博士が描いたホテイランの植物図柄オリジナルマスクケースが登場。マスクが欠かせない今、お気に入りのマスクケースを使って気持ちよく過ごしませんか。プレゼントにもぴったりです。



オリジナルマスクケース(ホテイラン) 385円(税込)

観光バス「MY遊バス」のご案内

- JR高知駅から牧野植物園までMY遊バスで約30分。
- MY遊バス乗車券を牧野植物園の窓口で提示すると、入園料が100円引きとなります。
- 料金 / [五台山一日券] (高知駅⇄五台山) 大人(中学生以上)600円 子ども(小学生)300円
- MY遊バスに関するお問い合わせ 運行について / とさでん交通(株) TEL 0570-088-103 乗車券について / (公財)高知県観光コンベンション協会 TEL 088-823-1434

高知県立牧野植物園ご利用案内

[開園時間] 9:00～17:00 [休園日] 年末年始(12/27～1/1)
[メンテナンス休園日] 9/27、11/29、R4/1/31
[入園料] 一般730円(高校生以下無料) 団体630円(20名以上)、年間入園券2,930円

※身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳、療育手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者1名および高知市・高知県長寿手帳所持者は無料

[交通案内]

はりまや橋から車で約20分。
高知自動車道「高知IC」から一般道で約20分。
高知自動車道「高知JCT」経由、東部自動車道「高知南IC」から約15分。
高知龍馬空港から東部自動車道経由で約25分。
駐車場無料(普通車183台、バス8台)。

※道路案内板の「五台山」または「牧野植物園」「竹林寺」を目指してお越しください。

高知県立牧野植物園 友の会 会員募集

[特典] ※会員ご本人様の特典です。
①窓口で会員カードを提示していただくと、入園料無料。
②「牧野植物園だより」(年4回発行)や、催し物案内を定期郵送します。
③牧野植物園が主催するイベントや教室に会員価格で参加できます。
④レストラン、ショップ利用時にカード提示で、5%の割引が受けられます(カフェでは適用されません)。
[会費] 普通会員 / 年額 4,000円 賛助会員 / 年額 10,000円
[入会のお申し込み・お問い合わせ] 088-882-2601 友の会担当まで



牧野植物園ロゴマーク: バイカオウレンの葉

バイカオウレンは、高知では春一番を告げる花として、牧野富太郎博士が特に好んだといわれています。早春に小さな白い花を咲かせるこの植物は、晩年東京で暮らした牧野博士にとって故郷を思わせる懐かしい花でした。

高知県立牧野植物園だより No.86 令和3(2021)年6月28日発行

[編集・発行] 公益財団法人 高知県牧野記念財団
〒781-8125 高知市五台山4200-6 高知県立牧野植物園
Tel 088-882-2601 Fax 088-882-8635

[印刷] 有限会社 西村騰写堂

www.makino.or.jp



高知県立 牧野植物園だより



ムジナモ [モウセンゴケ科]
Aldrovanda vesiculosa L.

本州、ユーラシア、アフリカ、オーストラリアに分布し、河川や湖沼などの水中に浮遊する食虫植物。二枚貝のような葉で、ミジンコなどを捕らえる。径5mmほどの白い花は7～8月に咲き、開花時間は2～3時間程度。牧野博士が、明治23(1890)年に日本国内ではじめて分布を確認し、和名をつけた。

News 協定締結報告

郡健二郎学長(左)と水上元前園長(右)のエア握手



名古屋市立大学と協力協定締結

創薬を目指した共同研究さらに加速へ

令和3(2021)年3月22日(月)当園と名古屋市立大学が創薬開発に向けた連携協力協定を締結しました。これまで当園の海外植物調査で採取された植物試料は当園でエキスライブラリーを作成し、大学や、企業などの医薬品や医薬部外品の開発を目的とした研究室に提供することで有用性の探索を行って



当園の友の会会員が見守る中開催した、締結式と記念シンポジウム

きました。名古屋市立大学も連携先の一つで個々の研究室で病気の発症メカニズムやそれを阻害するような物質の探索を行ってきましたが、薬学部、医学部、看護学部などの医療関連の学部を

有する名古屋市立大学と連携協定を結ぶことで、病気の発症メカニズムやその治療標的の解明、阻害活性を持つ化合物の探索、臨床応用までの一連の流れを名古屋市立大学の一ヶ所で進めることが可能になりました。まさに創薬開発の研究のためのプラットフォームが形成されることになります。

締結式は名古屋と高知をリモート中継で結んで執り行いました。また、本締結式に続き記念シンポジウムとして同大平嶋尚英教授、林秀敏教授、当園水上元前園長の講演が行われました。今回、名古屋市立大学全体と連携協力協定を締結したことによって、さらに創薬開発が加速することが期待されます。連携協力協定の成果として5月4日付けの学術誌(Scientific Reports)に論文が掲載されました。

(松野倫代)

Report 研究活動

川原園長(当園の生薬標本庫にて)



川原信夫園長に聞く

生薬・薬用植物研究の歩みと資源植物研究の展望

これまで

前号の「ご挨拶」でも触れさせていただきましたが、私は薬学の出身で、現在に至るまで主として漢方薬の原料となる生薬および薬用植物に関連するレギュラトリーサイエンス(評価科学)研究に



前職における、植物採集の様子

従事して参りました。レギュラトリーサイエンスとは、科学技術の成果を「人と社会」に調和させ、真に役立つために必要な独自の科学分野です。この研究分野において医薬品の規格基準である日本薬局方に関わる生薬類の品質評価研究、薬用植物の栽培、育種、生物活性評価並びに各種情報のデータベース化および植物

エキスライブラリー構築に関わる研究を行って参りました。

これから

今後私は、特に高知県に自生する多様な植物に着目し、さまざまな観点からその有用性を評価する応用研究を実施する予定です。その成果は、レギュラトリーサイエンスの概念から真に高知県民の皆さまのためになるかたちで社会実装化を図って参ります。同時に高知県内のさらなる薬用植物栽培推進を目指し、我々の研究成果を多くの方々と共有し、連携できるようなネットワークの構築を進めて参ります。

来年度には新研究棟も完成しますので、気持ちも新たに高知県を元気にするような研究成果を目指して頑張ります。皆さまのご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。(川原信夫)

Information 企画展案内

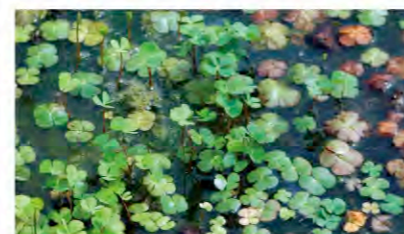
企画展「つなげ!高知の少ない生きものたち」開催!

未来につなげる、いのちと情報



高知県レッドデータブック

令和3(2021)年度、高知県では絶滅のおそれがある植物をまとめたレッドデータブックが20年ぶりに発刊されます。動物編は平成29(2017)年に改訂されており、これにより県内の危機にある生きものの現状がわかるようになります。当園では発刊に先駆け、レッドデータブックについての企画展を7月17日(土)から9月5日(日)まで開催します。本展では、動植物の専門家が連携し、写真や映像、剥製などにより、高知県の絶滅危惧種を紹介します。自分を取り巻く自然に関心を持ってもらうため、展示する



生育地が県内1地域に減ったデンジソウ

は、動植物の専門家が連携し、写真や映像、剥製などにより、高知県の絶滅危惧種を紹介します。自分を取り巻く自然に関心を持ってもらうため、展示する

生きものは、メダカやゲンゴロウ、オナモミなど一度は名前を聞いたことがあるもの、ちょっと名前が変わったものなど、子どもも大人も興味を引かれるようなものを選んでいきます。また、レッドデータブックやレッドリストとはどんなものか、生きものの保護の仕組みなども解説します。

期間中には、大学生以下を対象にいろいろな生きものを調査するワークショップを開催します。絶滅危惧かどうかを判断する上で必要なのは「過去」と「現在」の情報。「いたこと調べる調べ方」コーナーでは、生きものの調査方法を専門家がわかりやすくパネルで解説します。夏休みの宿題にぴったりの「自由研究生きもの調査」とおすすめ図鑑コーナーもありますので、ご家族でご来場ください。(前田綾子)

Information 調査ボランティア案内

テンナンショウ類分類セミナー

令和3年度「植物分類学セミナー」はじまる

分類の知識と技術を学ぶ機会



当園では、県内の植物調査や研究に欠かせないバラタクソノミスト(準分類学者)を養成する講座を、平成24(2012)年から開催しています。県内の植物を網羅した『高知県植物誌』や「高知県レッドリスト」の改訂は、調査ボランティアの方々の協力があってこそ完成したもの。県内の植物多様性を知り守る活動において、より多くの方に当園の調査活動に興味を持って参加いただけるよう、調査ボランティアの技術向上や学びの場として、令和3年度の「植物分類学セミナー」を5月9日(日)からスタートしました。



はじめの一歩ガイダンス

今年度は、初心者や

調査活動にまだ自信のない方が、調査の方法を一からわかりやすく学べるよう、野外調査の講義や実習を行います。また、以前から要望のあったシダ植物とテンナンショウ類を対象に、似た植物を見分けるポイントを学ぶ講座を企画。初心者から経験者まで幅広いレベルにあわせて受講できます。さらに、部位ごとの構造を観察しながら描くことで、植物観察に必要な植物の判定や同定の目を養うことを目標とした植物図の描き方講座を開催予定です。毎回、各分野の専門家を講師として招いていますので、受講することで自身の見識やスキルアップを目指せます。ボランティア登録して、調査研究活動に参加しませんか?

(橋本季正、田邊由紀)

植物調査ボランティアのお申し込みはホームページから https://www.makino.or.jp/fixed/?page_key=research-volunteer

Info 半世紀以上植物園を見守り続けた
資源植物研究センターの建て替え

資源植物研究センターの建物は、牧野博士が蒐集した蔵書42,000点を保管する牧野文庫として昭和38(1963)年に生まれました。落成式では牧野博士の次女鶴代さんと当時の溝渕高知県知事が植物園らしく剪定鉢でテープ



1980年代のようす

カットを行いました。昭和48(1973)年には、2階部分を増築し、1階の展示ホールを牧野博士を顕彰する常設展示場として、2階をあじさい教室や標本作り教室などの植物教室の場として、多くの来園者にご利用いただきました。さらに、平成11(1999)年からは、展示ホールを化石の常設展示場として親しんでいただきました。

平成17(2005)年に、「資源植物研究センター」としてリニューアルしてからは、薬用植物の研究施設として機能してきましたが、耐震性不足であることに加え、牧野植物園磨き上げ整備基本構想に基づき、整備事業を行うことになりました。南園のシンボルの一つとして58年間見守り続けてきたこの建物も、この夏、解体工事を開始し、令和4(2022)年度には「新研究棟」として、新しく生まれ変わります。(濱口宗弘)

Info 外来植物防除活動を実施中

外来生物のうち、特に生態系や人の健康、農業などに被害を及ぼす可能性がある生物は外来生物法*により特定外来生物に指定されています。当園では、県内に生育する特定外来生物(植物)9種類のうち、当該地域において拡大防止効果が高く、根絶の可能性がある4地域3種について、平成29(2017)年度より調査ボランティアや地域住民、自治体と協働で防除活動に取り組んできました。外来種対策は、短期間の実施では効果が得られにくく、継続的な防除活動が必要ことから、今年度も3地域で防除活動を開催します。

皆さんも高知県の生物多様性を守る第一歩として、防除活動に参加してみませんか?詳細は、当園ホームページをご覧ください。



ナルトサワギクを除去する参加者

- 令和3年度開催日
- ・7月18日(日) / オオハンゴンソウ防除活動(津野町天狗池)
- ・8月28日(土) / アレチウリ防除活動(高知市春野町仁淀川河川敷)
- ・9月15日(水)、令和4年3月18日(金) / ナルトサワギク防除活動(芸西村琴ヶ浜)

*外来生物法:国が定めた「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」

Report タルボサウルス、空を飛ぶ!!

中生代のアジア最大級の肉食恐竜タルボサウルスの生体復元模型は、昭和56(1981)年に化石館の入口に設置されました。当時の肉食恐竜は尻尾を地面に垂らした態勢で復元されるのが主流で、ゴジラのようなレトロな雰囲気で見られていました。平成16(2004)年に化石館を土佐寒蘭センターに建て替えるためにバックヤードに移動し、平成27(2015)年度の企画展「恐竜時代の植物たち」にあわせて北園の芝生広場に再び登場し、翌年3月に中生代に進化したパラナマツなどの植栽がある資源植物研究センター前に移動しました。今年、新研究棟の工事に伴い再び移動することになり、40年の歳月で傷んだ箇所を入念に養生し、クレーンで吊り上げました。タルボサウルスが宙に浮いた瞬間はドキドキしながらも壮観でした。慎重に積み込み・運搬し、無事に移設場所にたどり着いたときはほっとしました。再び太古の植物とともに披露目する計画です。(中野善廣)



宙に浮き上がったタルボサウルス

News 手紙コンテスト
「拝啓 牧野富太郎さんへ」募集中

令和4(2022)年4月24日に、高知県佐川町出身の植物分類学者、牧野富太郎博士の生誕160年を迎えます。牧野植物園など関係団体で構成する「牧野富太郎生誕160年記念事業実行委員会」では、この機会に、美しい花として人の心を豊かにするだけでなく、時には、食料や薬など人間が恩恵を受けている植物に関心を持っていただき、あわせて、牧野博士に今一度想いを寄せていただくことを目的に、「拝啓 牧野富太郎さんへ」を実施します。

もし、現代に牧野博士がいたら、こんなことを聞いてみたい、こんなことを伝えたいなどといった牧野博士への手紙を募集します。牧野博士からのお返事はありませんが、あなたの心の中で「牧野博士ならきっとこんなお返事を書いてくれるのではないだろうか」と想像しながら、ぜひ牧野博士へのお手紙をお送りください。(小松加枝)

参加資格どなたでも / 400字以内(1人1編) / 10月23日(土)当日消印有効 / 送付先:〒789-1201 高知県高岡郡佐川町甲1485番地 牧野富太郎ふるさと館 行



応募用紙表紙(便箋や原稿用紙でもご応募可)

Report 「見ごろの植物ガイドウォーク」
5月よりスタート!

毎週発行している「見ごろの植物マップ」を持ってスタッフと一緒に園内を巡るガイド事業を新たに企画しました。毎月第3日曜日(9、11、3月除く)の10:30から実施、当日受付、先着順(定員15名)で、所要時間は30分ほどの内容となっており、お気軽にご参加いただけます。密を避けるため距離をとりながらガイド音声を聞くことができるワイヤレスマイクガイドシステムを活用し、解説は広めの場所で行うなどの対策にも努めています。

第1回目は、5月16日(日)に小雨の中、8名さまに参加していただき本館から展示館まで巡りました。この日は初来園の方が多く、当園の特徴と牧野博士について説明しながらピロードムラサキ、マイコアジサイ、ガマズミ、ヨコグラノキ、アリマウマノズクサなどを案内しました。

解説を聞きながら、四季折々の見ごろの植物を一緒に楽しみませんか?

(松本孝)



マップを持って園内巡り

Report 南園のシンボルツリー
ヒトツバタゴ枯死について

南園の連絡道沿い、牧野富太郎像へ下りる階段の横に「ナンジャモンジャ」の名で親しまれる2本の大きなヒトツバタゴがありました。この2本は、昭和45(1970)年の植栽当初はまだ30cmほどの2年生の幼木でしたが、50年以上が経過し、樹高も9m以上に成長していました。

令和元(2019)年ごろから階段側の1本に枝枯れが目立ちはじめ、花つきが悪くなってきたため、土壌改良などの樹勢回復を試みてきましたが、残念ながら枯死してしまいました。倒木の恐れもあり、4月末にはやむなく伐採しました。地上部は硬く緻密で重い材でしたが、根はスポンジ状に柔らかく腐朽していました。



在りし日のヒトツバタゴ

残った1本を健全に維持するために、原因究明と樹勢の維持・向上に努めます。枯損したヒトツバタゴの材はベンチなどの木製品に加工し、皆さまに活用していただけるよう計画しています。

(中野善廣)

Info 展示館 中庭に面したブックカフェで
本×植物×コーヒーの時間はいかが?

6月下旬から展示館カフェアルブルの一隅で、小さなブックカフェ「中庭文庫」をはじめました。牧野博士に関する書籍や当園が発行した書籍、当園の情報が掲載された書籍とともに、植物研究課の職員オススメの、植物に関する書籍などを取り揃えています。



牧野博士ゆかりの植物を植栽した中庭に面したカフェは、ゆったり読書するにはうってつけのロケーション。四季折々の植物を楽しみながら植物に関する知識を吸収し、読書の合間には中庭の植物を眺めながらコーヒーの薫りに包まれる。そんな牧野植物園でしか味わえない、本と植物とコーヒーが織りなす至福のひとときをお過ごしいただくことができます。

まだ、利用者はわずかですが、今後、園内の静かな穴場としてじっくり定着させていきたいと考えています。書籍のラインナップも不定期でマイナーチェンジすることがありますので、時々のおいでみてくださいね。(岡林里佳)

Report 季節の草花で彩る
生け花ボランティアの活動

牧野富太郎記念館 本館へ入ると、四季折々の草花を使った生け花作品が来館者を出迎えてくれます。館内各所に生けられた作品は、生け花ボランティアの皆さんによるものです。毎週土曜日、ボランティアメンバーがその時季に手に



相談しつつ作品を生けるメンバー

入る草花を持ち寄って生け込みを行っています。園地だけではなく館内でも季節を感じることができるこの活動、じつは平成11(1999)年に記念館を新設してから約21年も続く息の長い活動です。当初から中心メンバーとして活動している川島みどりさんにお話を聞くと「色々な方に助けをもらいながらの21年。なにより、草花に触れ、作品にして、それを人に見ていただけるのがうれしい。いつも、今日はどんな風に生けようかと楽しみにしています。」と笑顔で語ってくれました。当日集まった草花を取りあわせて即興で生けるといふ作品は、館内の展示や建築と調和し、長年変わらず来館者の目を喜ばせています。(岡林末悠)

*毎週末に生け込みを行っていますが、時期により展示がない場合もあります。

見ごろの
花だより

Vol.37
Flowers in season

サガリバナ

[サガリバナ科]

Barringtonia racemosa

奄美諸島以南の南西諸島、アフリカ、インド、東南アジア、太平洋諸島の湿地に分布する常緑の小高木です。南西諸島では初夏に開花しますが、熱帯地域では周年開花します。枝の先端部や葉の落ちた部分から長さ20~60cmの花序がつき、総状に下垂する花序のようすが和名の由来です。花弁は4枚で白色または淡紅色の花に、たくさんの糸状の雄しべをつけるのが特徴で、独特な甘い香りを漂わせて虫たちを受粉のために誘い、結実した果実は断面が四角形の長楕円状卵型です。

夜に咲いて朝には散る一夜花として有名で、毎年恒例の「夜の植物園」の目玉展示の一つとして開花のようすを温室でご観賞いただけます。当園の個体は例年8月上旬に開花をはじめ、中旬には見ごろを迎え、10月下旬まで花を観察できます。花は夕方6時ごろから蕾が開きはじめる、8時ごろに完全に開花します。そのまま次の日の午前中まで多くの花が落ちずに残っていることもあります。その後、落ちてしまった雄しべが足元近くを流れる小川の水面に浮かぶ様子は、ひとときの清涼感を感じさせてくれます。

(丹羽誠一)



夜の植物園で幻想的に咲くサガリバナ

園地のできごと

Vol.37
The gardening
section's news

さくら・つつじ園の 園路修繕工事



通行しやすく開放的な園路

さくら・つつじ園は、展示館北斜面にあり、牧野博士が大好きだった桜やツツジの仲間を数多く植栽しています。完成から20年が経過し、当時は美しかった土舗装の園路は剥がれや陥没が目立ち、歩きにくくなってしまいました。そこで、土舗装の風合いはそのままに、より強度が高く、劣化しにくい三和土舗装[※]に変更して、一から園路を再生させることにしました。

新しく生まれ変わった三和土舗装の園路は景観に馴染む自然な色で、滑らかな路面になったため車椅子やベビーカーの方にも安心して散策いただけるようになり、エリアの奥にある早春に咲くカワツザクラや黄緑色の花が人気のサトザクラ‘鬱金’などにアクセスしやすくなりました。このエリアは高知市東部の眺望が開けており、春だけでなく四季を通じて気持ちの良い空間です。足元では珍しい草花もご覧になれますので、快適になったさくら・つつじ園に足を運んでみてはいかがでしょうか。

(和田康男)

[※]三和土舗装…セメントがない時代に、地面を固めるために用いられた伝統的な工法。山土や砂利に石灰とにがりなど主に3種類の材料を混ぜ合わせることから三和土と書く。

植物の
「なぜ？」

Vol.37
Plants' Q and A

Q | なぜヤブガラシの葉はきれいなのか？

A | ハダニを察知して逃げているからです。

今回は身近に見られる植物の一つ、ヤブガラシの驚くべき生態を紹介します。植物は動物や昆虫と違い、眼と筋肉のような運動器官を持たず、根を張って自分の体を固定して生活しています。そのため、敵となる捕食者が来ても逃げることは出来ず、被害を受けることとなります。これに対する防御として、植物はさまざまな戦略をとることがわかってきていますが、近年の丹念な観察を通じた研究によって、植物が持つ感覚の世界が明らかにされつつあります。

ヤブガラシはブドウ科のつる性植物で、春になると新芽を出してつるや巻きひげを伸ばして草木などに絡みつき、夏に成長して冬には枯れるという生活サイクルを持っています。つる性植物のいいところは、自分の体のかたちを変えやすいということです。根は土の中に張っていなければいけません、茎の部分は好きな環境を求めて動いていくことができます。ふつうは、光がよく当たる高い場所を目指して伸びていきますが、ヤブガラシはもう少し賢いようです。最近の研究でわかったことでは、アサガオとヤブガラシ

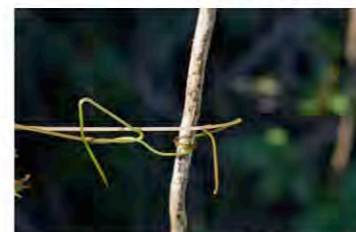
の近くに、ハダニが寄生した植物を置くと、アサガオは絡みついてしましますが、ヤブガラシの方は、つるの先が触れるとそうならずに離れていくようなのです。詳しいメカニズムは明らかになっていませんが、少なくともヤブガラシがつるの先でハダニを感じ取って、巻きついていけないように回避しているのは確かです。

関連して、植物は食害者である昆虫などの唾液物質を感知することが知られています。植物はやらればなしではなく、想像以上に賢い生きものなのです。

(堀清鷹)



ヤブガラシの葉と花



ヤブガラシのつる

身近な植物を
知る

Vol.40
Plants close to us

バショウ

[バショウ科]

Musa basjoo Siebold ex linuma

中国原産といわれ、日本の暖地に広く植栽される大型の多年草です。地下に塊状の根茎^{こんけい}があり、そこから多数の葉を出します。一見、茎のように見える部分は、葉の基部が鞘状に重なりあってできた偽茎^{ぎせい}です。バショウの仲間ですがバナナは別種で、種子なしの性質をもって多様に分化した品種群です。バショウも花が咲き受粉をすれば、バナナと同じような実を結びます。

高知県では、あたかも自生のように集落でよく見かけるバショウ。何故こんなに生えているか不思議でした。お皿代わり? 包装用? 救荒作物? 旅人へ水辺を知らせる目印か?—なぜ、どうして、そうなったのか。調べてみると、年中行事の一つ「お盆」で、精霊棚(盆棚)や水棚にバショウの葉を敷くとのこと。風習と密接に係る身近な植物なのです。なぜバショウの葉であって、サトイモの葉やそのほかの種ではないのか。この「なぜ?」は、またの機会に。(藤川和美)



バショウ(左)の苞は黄色で、バナナ(右)のように赤くない

Staff's recommendation

スタッフに聞く!
植物園の見どころ Vol.40

植物研究課
堀清鷹のおすすめ

南園のシダ

当園はマニアックな植物の宝庫です。中でも南園のお馬路には、数多くのシダ植物が植栽・生育しています。この場所は元々、竹林寺の境内で、「よさこい節」で有名な南の坊住職・純信と五台山の鑄掛屋の娘・お馬とのロマンスの舞台でもありました。

少し堀割になった古い石垣に沿って水路があり、周辺に樹木が植栽されているため、適度な日陰と湿度が維持され、シダ植物が生育しやすい条件が整っています。葉の長さが15cmくらいの小型のものから1m近くになる大型のものまでさまざまな種が見られます。五台山で元々生育しているものと、当園が開園したころに植栽されたと考えられるものがありますが、どちらもよく環境に馴染んで元気に生育しています。

シダは花が咲かないため地味なイメージがあるかもしれませんが、その端正な形の葉に神秘的な魅力を感じることができると思います。また、葉の色とかたちにはさまざまなバリエーションがあります。いくつかのシダには種名ラベルがついておりますので、ぜひ見比べてみてください。



水路沿いのシロヤマシダ